

図書館だより 3月号

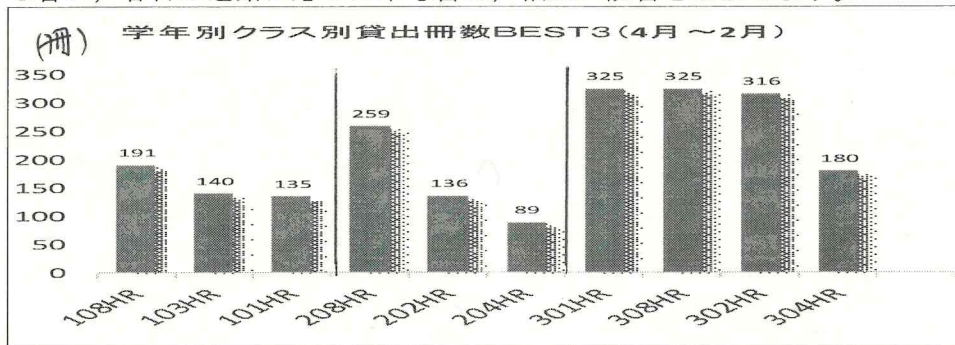
徳島北高等学校図書委員会

「この1年間、本との出会いはどのようでしたか？」

この1年間で、どんな本と出会えたか、本を読む時間はどのくらい持てたか、新聞を読む時間は持つことができたか等、皆さん一人一人の読書について振り返ってみましょう。

忙しい毎日を送る高校生である皆さん、中学生までの頃より読書量が減少していませんか。スマートフォンで情報を確認したり、インターネット情報を集める時間については毎年増えているかもしれません。また、音楽や画像を楽しむ時間は、皆さんの生活になくはならないものになっていることでしょう。しかし、本（活字）にじっくりと向き合う時間は、意識して自分に課して習慣にしていけないと、読まないままの生活が続いてしまいます。言葉で思考する私達は、言葉をとおして確実な思考力を高めています。本（活字）を読む時間を持って、思考力を鍛えましょう。

春休みの学習計画の中に、意識して読書時間も確保し、友達と本を紹介し合い、各自の進路に応じた本も含め、幅広い読書を楽しみましょう。

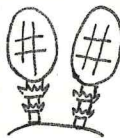


(注) 個人貸出のみ

1月号での予告どおり、4月～2月までの11か月の貸出冊数が多いクラスを学年別にグラフ化してみました。3年生は、2月にも入試対策等のために、よく本を利用していた事が、貸出冊数の数値にも表れていました。

読んでよかったと思える本との出会いは、不意に訪れます。出会いの場に、身近な学校図書館もぜひ入れてください。

春休みになるまでに本を1冊以上借りて、家庭読書を楽しみましょう。



図書委員のおすすめ本 (皆さんも読んでみてください。)

『サファイア』 湊かなえ 著 108HR 谷 和沙
湊かなえさんの短編集で、各ストーリーのタイトルに宝石の名前がつけられています。どのストーリーも短編ながら読みごたえのあるミステリーです。通学中や寝る前のすき間読書にいかがですか。

『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない上・下』 岡田磨里 著 108HR 前坂 慎
皆さんは、「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない」というアニメをご存じですか。僕が紹介するのは、そのアニメの小説版です。この作品は、登場人物の心情が繊細に描かれた世紀の感動作品です。

『羊と鋼の森』 宮下奈都 著 207HR 大岸 咲慧
主人公の外村はピアノの調律師が出す音色に惹かれ、自分も調律師を目指すことを決意する。主人公が見ている景色や感じたことが鮮明に描かれているので、小説の世界観を深く味わうことができる小説である。



『物語シリーズ』 西尾維新 著 207HR 藤本 剛瑠
私がおすすめする本は、小説の『物語シリーズ』です。この作品は以前ドラマ化された『掟上今日子の備忘録』の作者の作品であり、遊び心のある言葉選びと独特の世界観が際立っています。何十と続いているので、長く楽しむことができます。

図書館の春休み特別貸出期間

3月8日(金)～4月8日(月)(始業式まで)
一人10冊まで……春休みには様々なジャンルの本を読もう！

「春」がテーマの本をリストにしています。手に取ってみましょう。家庭の部屋や、教室のロッカー・片隅に残っている学校図書館の本はありませんか。確認をお願いします。返却の督促状が届いている場合は、速やかに返却してください。